

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《荏田北ナーサリ ー》	種別：認可保育所
代表者氏名：坪 梨花	定員（利用人数）： 60名
所在地： 横浜市青葉区荏田北1-13-14	
TEL：045-914-3344	ホームページ： https://www.starchild.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 8名
専門職員	施設長 1名 調理員 2名
	保育士 17名 事務職員 1名
	栄養士 1名
施設・設備 の概要	（設備等）
	園庭、調理室、調乳室、沐浴室、 乳児トイレ、幼児トイレ、多機能 トイレ、事務室兼医務室、更衣室 など

③理念・基本方針

【保育理念】スターチャイルドは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。

【保育方針】

- (1) 良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）
- (2) 個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）
- (3) やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身に着けます）

④施設・事業所の特徴的な取組

① 施設・事業所の特徴的な取組

園舎は、1階に0、1、2歳児保育室があり、2階に3、4、5歳児保育室があって1階の保育室から直接園庭に出ることができます。保育室は壁や区切りはなく、小さな可動式棚や衝立等で仕切ってクラスごとの保育コーナーとしています。園舎は、テーマを「果樹園」として、曲線を多く取り入れ、厨房は半円形で、上部全面がガラスとなっていて、作業が良く見えます。大きな木のオブジェや吹き抜けがあり、窓は大きく高く光が降り注ぐのが特徴です。

- ・5歳児の部屋には梯子がついたアスレチックがあり、畳コーナーや、階段下の小部屋など子どもたちがくつろいだり、遊びを工夫したりできる場所があります。
- ・卒園児が書いた園歌のボードや短くなった色鉛筆を並べて作った「スターチャイルド

えだきた」のボードなど卒園作品が玄関に飾られて想像力を引き出す取り組みがあります。

- ・英語教室は、外国人講師と他国の言葉や文化に触れ、体操教室は身体能力を高める活動を行っています。
- ・法人のプライバシーマーク取得に伴い「プライバシーマークガイドライン」を学び、職員全員が「教育確認テスト」を行い、個人情報認識するよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年5月7日（契約日） ～ 2020年12月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2016年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子ども一人ひとりが主体的に考えることができるよう努めています

保育士は、子どもの行動を決めつけず、子どもが理解できるように働きかけ、「なぜ？」を大切に、何故そうなるのかなどと一緒に考えて、子どもが納得して行動するよう努めています。訪問日の朝の会では、寒い季節の体の変化として、なぜトイレが近くなるのかと問うと、『寒いからおしっこを出して体を温める』と子どもが回答し、それに続けてさらに咳や鼻水の役割や大切さを伝えています。保育士から肌着の役割を聞いた子どもは、自分で考えてズボンの外にシャツを出したままにせず、入れようとしています。園は、子ども一人ひとりが主体的に考えることで自発的に行動できる保育を実践しています。

◆子どもの体験を通して理念の実践を目指しています

園は、子どもの意見を反映して夏祭りごっこや映画館ごっこを実施したり、お楽しみ会の劇「オズの魔法使い」で使う「ハート」の張りぼての小道具を、子どもが自由時間に作る姿が見られるなど、子どもの創造力を引き出す柔軟な保育をしています。また、5歳児は保育士体験を行い、エプロンを身に付け、0、1、2歳児に口拭きタオルの用意をしたり髪を結んだり、一緒に散歩するなどしています。保育体験の実施前には、施設長が、子どもと面接を行い、命を預かることの大切さを伝え、終わると労働の対価として後で使うことができる手作り貨幣を渡すなど、経験を通して意欲を引き出し、伸ばす保育を実践しています。このような理念の実践を目指す様々な取組が、更なるサービスの質の向上につながっています。

◆働きやすい職場環境への取り組み

施設長は、行事等の準備を前倒しで早めに検討して計画的に取り組むことで、余裕を持って保育ができる環境を作っています。また、ローテーションで人員を多めに配置して職員の事務時間を確保しています。主任は、フリーとなって各クラスを回り、クラスの課題と一緒に取り組んでいます。職員の情報共有やスムーズな情報伝達のために、2年前から週1回の10分ミーティングを導入し、その結果、保護者へ同一の対応ができるようになるなど、各職員が働きやすい職場環境作りに努めています。

◇改善を求められる点

◆災害時に地域と連携する体制作りが望まれます

園は、「安全管理・災害時対応マニュアル」を整備し、避難訓練年間計画を作成して、地震や火事を想定した防災訓練を毎月実施しています。しかし、地元の行政をはじめ、

消防署、自治会等と連携した訓練は行っていません。様々な災害が危惧される中、互いの助け合いが必要とされています。今後は、地域自治会などの防災訓練にまず職員が参加するなど、災害時に地域と連携する体制作りが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

スターチャイルド《荏田北ナーサリー》は、開園8年目を迎え、2回目の第三者評価を受審いたしました。

職員全員で自己評価に取り組み、話し合いや検討をする中で私たちの日々の保育を振り返り、さらに今後の保育を考える良い機会となりました。

お忙しい中、家族アンケートに答えてくださいました保護者の皆さまに感謝するとともに、皆さまの貴重なご意見を今後の保育運営に反映し、職員全員で保育及びより良いサービスの質の向上に繋がるよう努めていく所存です。

そして調査員の皆さまには、私たちの保育の取り組みや子どもたちの姿を観察し、励ましや評価のお言葉を頂き、感謝申し上げます。

これからも私たちはスターチャイルドの保育理念のもと、子どもたち、そして保護者の皆さまにとって安心して過ごせる場の提供や、笑顔溢れる保育園作りに励んでいけるよう職員一同、一生懸命取り組んで参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり